

藤沢市教育委員会定例会（5月）会議録

日 時 2007年5月11日（金）午後3時

場 所 東館2階教育委員会会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 前回会議録の確認

4 議 事

- (1) 議案第3号 教育財産の用途廃止について（第一中学校）
- (2) 議案第4号 教育財産の用途廃止について（六会中学校）
- (3) 議案第5号 平成20年度使用藤沢市教科用図書採択方針について
- (4) 議案第6号 藤沢市教科用図書採択審議委員会委員の委嘱又は任命について
- (5) 議案第7号 平成20年度使用藤沢市教科用図書に関する審議について（諮問）
- (6) 議案第8号 藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の任命について

5 その他

- (1) 財団法人藤沢市芸術文化振興財団の平成19年度事業計画について
- (2) 財団法人藤沢市青少年協会の平成19年度事業計画について
- (3) 財団法人藤沢市スポーツ振興財団の平成19年度事業計画について
- (4) 藤沢市八ヶ岳野外体験教室に係る指定管理者の選定方法について

6 閉 会

出席委員

1 番 小 野 晴 弘
2 番 鈴 木 紳一郎
3 番 開 沼 佳 子
4 番 平 岡 法 子
5 番 川 島 一 明

出席事務局職員

教育総務部長	落 合 英 雄	生涯学習部長	高 木 三 広
教育総務部参事	古 谷 一 幸	生涯学習部担当部長	浅 木 良 一
教育総務部参事	城 田 修 治	生涯学習部参事	渡 邊 忠 雄
教育総務部参事	桑 山 光 生	教育総務部参事	田 中 一 次
教育総務部参事	茂 木 利 夫	生涯学習部参事	浅 川 満
総合市民図書館長	関 水 秀 樹	生涯学習部参事	熊 谷 正 明
学校教育課主幹	吉 田 早 苗	青少年課主幹	吉 田 厚 治
学校教育課指導主事	高 橋 眞理子	学校教育課指導主事	柚 原 章
書 記	上 野 進	書 記	秋 山 曜

午後3時00分 開会

平岡委員長

ただいまから藤沢市教育委員会5月定例会を開会いたします。

この5月より、川島委員長の後任として委員長に選出いただきました平岡でございます。今後1年間、よろしくお願ひ申し上げます。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長

それでは、日程に入ります。

本日の会議録に署名する委員は、1番・小野委員、5番・川島委員に願ひしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、1番・小野委員、5番・川島委員に願ひいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長

次に、前回会議録の確認でございますが、何かありますか。

特にありませんので、このとおりの承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長

それでは、このとおりの承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長

これより議事に入ります。

議案第3号教育財産の用途廃止について(第一中学校)を上程いたします。事務局の説明を求めます。

城田教育総務部参事

議案第3号についてご説明いたします。この議案を提出したのは、学校施設の整備を図るため老朽化した教育財産の用途を廃止する必要があるもので、第一中学校の屋内運動場鉄筋コンクリート造2階建614平米の用途を廃止するものです。現在、入札が終わり、業者が決定した段階です。6月議会で承認を得た後、正式な契約となる予定です。(以下資料参照)

平岡委員長

事務局の説明が終わりました。議案第3号につきましてご意見・ご質問がありましたら願ひいたします。

特にありませんので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長

それでは、議案第3号教育財産の用途廃止について(第一中学校)は、原案のとおり決定いたします。

××××××××××××××××××××××××××××××××××××

平岡委員長

次に、議案第4号教育財産の用途廃止について(六会中学校)を上程いたします。事務局の説明を求めます。

城田教育総務部参事

議案第4号についてご説明いたします。議案第4号は、六会中学校の校舎の用途廃止をするものです。教育財産の内容、教育財産の評価額等は

記載のとおりです。六会中学校の設計の進捗状況は、基本的な案が決定し、これから実施設計に入っていくことになります。(以下資料参照)

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。議案第4号につきましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員 大規模な校舎の改築ですが、完成はいつごろですか。

城田教育総務部参事 今年度内で実施設計を完了し、来年の6月議会で承認をいただき、翌年の9月から10月に完成予定です。

川島委員 校舎が改築されるのに、体育館がそのままではバランス的にどうなのか、お伺いします。

城田教育総務部参事 今回の設計は校舎棟を中心にしておりまして、体育館については、現行の体育館は使いながら、将来新しい体育館の建設を想定した配置にしております。

川島委員 体育館の完成はいつごろですか。

城田教育総務部参事 体育館については具体的な話は出ておりませんが、将来、建設する位置だけは確定している状況です。

平岡委員長 ほかにありませんか。

ありませんので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長 それでは、議案第4号教育財産の用途廃止について(六会中学校)は、原案のとおり決定いたします。

×××

平岡委員長 次に、議案第5号平成20年度使用藤沢市教科用図書の採択方針についてを上程いたします。事務局の説明を求めます。

桑山教育総務部参事 議案第5号平成20年度使用藤沢市教科用図書の採択方針について、ご説明いたします。(資料参照) この議案を提出したのは、平成20年度に使用する藤沢市教科用図書の採択を円滑にするため、採択方針を定める必要によるものです。

また、文部科学省通知平成20年度使用教科書の採択について、「採択事務に関するルールを定め、あらかじめ公表するなど採択手続を明確にしておく取り組みを進める。」というものに沿ったものです。

採択方針の内容ですが、8ページは前文で文部科学省通知及び神奈川県教育委員会通知を踏まえて定めている旨を述べています。

1 基本的な考え方

国・県・市の資料等を踏まえて採択する。公正かつ適正を期して採択する。静ひつな採択環境を確保し、採択権者としての判断と責任において公正かつ適正な採択を行う。学校、児童生徒、地域等の特性を考慮して採択する。

本市の児童生徒の実態や地域の特性を考慮して採択する。

2 採択する教科用図書

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条及び同施行令第 14 条に基づいて、小学校教科用図書は平成 18 年度と同一のものを採択します。中学校教科用図書につきましても、平成 18 年度と同一のものを採択します。特別支援学校用教科用図書及び小学校若しくは中学校の特別指導学級用教科用図書については、教科書目録に登載されているもの又は 107 条図書のうちから採択します。107 条図書とは、学校教育法第 107 条に規定されている図書のことです。107 条には特別支援学校や特別指導学級では、文部省が検定若しくは著作した教科用図書以外の教科用図書を使用することができる旨の規定があります。つまり、一般の図書を教科書として使用することができるということでもあります。

3 採択の日程

採択教科書に係る大まかな日程です。小学校教科用図書及び中学校教科用図書につきましては、平成 19 年 7 月採択となります。特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別指導学級用教科用図書につきましては、平成 19 年 5 月から 6 月にかけて、特別支援学校長及び特別指導学級設置校長に教科用図書の調査研究を行わせ、特別支援学校及び特別指導学級用教科用図書調査書を提出させます。その後、教育委員会委員長から審議委員会委員長へ諮問を行い、審議委員会委員長は教科ごとに審議を行った内容を答申するという運びです。この調査書と答申を受け、7 月の教育委員会会議において採択となる予定です。以上です。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。議案第 5 号につきましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員 今年はず年の継続ということですが、例えば「メタボリック症候群」という言葉は、以前の「生活習慣病」というのが変化したと思うのですが、そういった新しく使われるようになった言葉はまだ教科書に載っていないと思うけれども、国、県の指導はどうなっているのか。子どもたちは新しい言葉をマスメディアを通して知るけれども、学校はどう解説されているのか。時代がどんどん変化し、4 年期間で見直していると教科書そのものは変わらなくても、そういう新しい言葉について学校長あるいは藤沢市教育委員会はどういう指導をされているのかお聞きしたいと思います。

桑山教育総務部参事 新しい言葉、逆に余り使わなくなった言葉についてですけれども、小学校、中学校の教科用図書は 4 年ごとの採択時には教科書の編集自体が大幅に変わりますが、それ以外の年度についても改定はされており、言葉についても精査がされます。特に新しい言葉については、世間的に通用する

新会計基準では収支予算書の会計区分ごとに事業活動収支の部、投資活動収支の部、財務活動収支の部の3区分と収入支出の状況を明らかにすることとし、現年度予算額及び前年度予算額及び増減比較を追加表示することとなりました。事業計画説明書についてですが、会計区分として一般会計に関しては財団の運営管理に要する経費で、特別会計は市民会館及び湘南台市民シアターを会場として実施する自主文化事業の運営に要する経費となっております。

予算内容ですが、事業活動収入の補助金等収入は市からの補助金収入です。事業活動支出の助成事業費支出は、市民の芸術文化活動の支援に要する経費です。情報事業費支出は、イベントニュースの発行、エフエム放送を中心とした芸術文化情報の収集、提供等に要する経費です。管理費支出は、財団職員の人件費や各種OA機器のリース料などの運営管理に要する経費です。他会計への繰入金支出は、特別会計へ繰り出す経費です。

次の投資活動収支の部及び財務活動収支の部は、収支はありません。予備費支出を含めまして、当期収支合計は同額です。

続きまして、特別会計の収入の主なものは、市民会館及び湘南台市民シアターで実施する事業の入場料の事業収入と一般会計からの繰入金収入です。事業活動支出の市民会館事業費支出は、クラシック音楽を中心に第7回藤沢オペラコンクール、トワイライトコンサートシリーズ、日本歌曲、オペラガラコンサート、学校訪問事業等に要する経費です。市民シアター事業費支出は、児童演劇、新作演劇、能等に要する経費です。

投資活動収支の部及び財務活動収支の部は、収支はありません。当期収支合計は同額です。

17ページの収支予算書総括表につきましては、財団全体の予算の総括表となっておりますので、ご参照ください。

22ページは財団事業の基本的な考え方です。23ページは理事・評議員からの要望も取り入れた今年度の具体的な事業内容です。24ページから26ページの財団の組織と職員の配置状況、理事・評議員の名簿はご参照いただきたいと思います。以上です。

平岡委員長

事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

開沼委員

藤沢市芸術文化振興財団の基本方針は2行書かれているだけです。私は昨年度も新年度の事業報告の中身についてはもう少し詳しい説明が欲しいと、つまり財団としての活動の理念、活動の内容に対する方向性といったものを文書として入れてほしいと要望しました。今年度の活動計画はどのように立てているのか、教えていただきたいと思います。

浅木生涯学習部担当部長 前回、説明したときは理事会の開催、評議員会の開催の関係と
いうことがあり、昨年度は理事会を4回、評議員会も2回開催しております。
今年度も既に評議員会を1回開催しており、できるだけ皆さんのご意見を
反映できるように努めております。ただ、事業計画自体が1年半から2年前
から計画をしないとスムーズにはいかないもので、すべてがそのようになって
おりませんが、努力はしております。事業予定表をご覧くださいます
と、以前より事業数が8本増えております。昨年から今年にかけてオペラ
歌手による「日本の歌」というオペラよりも聞きやすいものを行うとか、
理事・評議員のご意見で演劇についても地元の人に関係するとか、今年5月
26日の「ぬけがら」という岸田戯曲賞を取られたものとか、アカンサスフォ
ーコンサートは地元の方を中心としたコンサートとか、それから今までは
「国定忠治」のようなものは行っていなかったのですが、このようなジャン
ルを取り入れたとか、できるだけご意見が反映できるような努力をしてお
ります。今年度の特徴的なものとして、来年を市民オペラの年と考えオペラ
コンクールを3月に行おうと考えております。それから、ワンコインコンサ
ートといって、お母さんが赤ちゃんを連れてきたまま聞けるものを小ホールで行
っているのですが、ほとんど満杯状況で子どもの数を入れると違反してしまう
のではないかとというぐらいの人気の、抱っこしていただいています。北部方
面でも、というお話もあるのですが、赤ちゃんが走り回ってもけがを比較的
しないという施設を検討しているのですが、まだ実施には至っておりません。
学校訪問については利益を考えないで行っているもので、学校訪問なども
校長会にお願いに行き、今年度は12校予定していますけれども、年度途中
でもご要望があれば、できるだけ反映できるようにしていきたいと考えて
計画しております。以前は、どちらかというオペラに近いクラシックばかり
というご批判がありましたけれども、できるだけいろいろなものをご紹介
できるように努力していきたいと思っております。

開沼委員 3月のオペラコンクールについて、ご説明ください。

浅木生涯学習部担当部長 今回で7回目になりますが、前は急遽日程が変更され124人の
参加と少なかったのですが、今年は今から大学も含めて広く募集していきたい
と思っております。

開沼委員 説明を聞くと今年度の特色が出ているし、プログラムの内容なども変わっ
てきていると思います。ワークショップでダンスパフォーマンスといった
ものも取り込まれるようになり、子どもたちへの教育活動などもさらに厚み
を増していると思います。そういったことが今回の概要に記載されていない
のは、非常に残念に思います。前回も同様の意味で、資料は豊かにしていただ
きたいという要望を財団の理事会、評議員会の開催のことと合わせて申し

上げた」と記憶しています。努力をされているので、文書で広く発信していただきたいと思います。

浅木生涯学習部担当部長 そのように努力してまいりたいと思います。今まではいろいろなチラシでPRをしてきましたが、タウンニュースでのPRも年2回考えておりまして、1回目は既に発行しております。市民の皆さんができるだけわかりやすいように、それから自主事業をやるごとにアンケートを取っており、施設のあり方も含めてご意見をいただいておりますので、ご意見を反映できるように、できることは早く対応していきたいと思っています。

開沼委員 インターネットなども普及していますので、いろいろな市民の声を吸い上げ、たくさん声を聞いていただきたいと思います。実際に会場に来た方へのアンケートは重要な情報源だと思いますが、来ていただく方には来ていただく動機がありますから、それも大切にしながら幅広く市民の声を聞いていただきたいのです。現在、いろいろな形で芸術文化の環境が豊かになってきておりますので、市で考える、つまり身近な日常生活にとけ込む文化活動、新たな芸術文化活動にしていきたいと思います。

タウンニュースなどにこれから出していくということですが、情報事業費はどういう形で使われているのかお聞かせいただきたいと思います。

浅木生涯学習部担当部長 今年度で一番予算計上しているのが情報事業費ですが、相手から請求された金額の半額で載せていただいています。そのほかにも、チラシをたくさん配布しています。それも業者にお問い合わせするとお金が大変なので、どういう人がどういう催し物のときに来ているかアンケートに出てきますので、チラシをたくさんつくって配布しております。それから江ノ電新聞などの幾つかの情報紙にも掲載させていただいております。もっと載せた方が良いというご意見もありますが、横須賀などは県内に配っていたりするのですが、藤沢ではそこまでお金をかけるのはやや無駄かと思っております。このタウンニュースを中心としながらPRをしていきたいと思っています。

川島委員 タウンニュースはよく見ていまして、非常に発展的にされていると感じています。それから私も評議員会に出席していて、各先生方のご意見に対して計画的に行っていると思ったのですが、中学校校長会の会長が小学校12校の訪問を見て非常によろしいので、中学校にも来ていただけないかということをおっしゃっていたけれども、その点はどうですか。

浅木生涯学習部担当部長 小学校だけでなく中学校も何校か入っていたと思います。中学校は事業を決めるのがかなり早くて、4月の合同校長会では間に合わないというようなご意見をいただいているので、そのことも含めて対応していきたい。今は12校ですが、そこに1つか2つ中学校が入っていたと思いますので、希望があればできるだけ対応していきたいと思っております。講師の

方にも交通費程度でご協力いただいておりますので、PRの時期をもう少し
早めながら校長会にかけていくことも必要かと思っております。

川島委員

それから観劇していて、中学生、高校生のジュニアが少ない感じがする。
素晴らしいミュージシャンを呼んだりしているのにお年寄りが結構多く、
何かもったいないという感じがしないでもないので、ぜひ中学生でも受験の
合間に素晴らしい音楽、芸術に触れられるようにPRをされてもいいのでは
ないか。家庭にはチラシが来るけれども、両親が見て子どもの目には触れな
かったりもするので、中学の音楽教育の中で前進的に検討していただいて、
子どもたちがそういったところへ出かけられればと思うのですが、いかがで
しょうか。

浅木生涯学習部担当部長

中学生、小学生に関心を持っていただくことに努力はしなければ
いけないのですが、この5月4日、5日の「親と子のやわらかコンサート」
は満員状態でした。5日には演劇を行いました、かなり入っております。
それから今度、神奈フィル等々が来るのですが、学校教育課にもご協力いた
だいて、小中学校の全員にパンフレット・チラシを配っております。できる
だけやれることはやろうかと、それが結果につながるようにやるにはどうし
たらいいか、現在考慮中であります。

川島委員

ある評議員の方が、クラシックはいろいろな楽器で演奏するけれども、
能などのように事前に説明があるとわかりやすいと言われていたので、そう
いうことも検討していただければと思います。

浅木生涯学習部担当部長

それはなかなか難しいと思います。例えばオペラの人という
わけにはなかなかいかない。親と子のコンサートのようなところでは、多少
はできるかと思えます。それから、赤ちゃんを連れてきてのワンコインコン
サートは500円で聴いていただいているのですが、お子さんが泣かないよう
にする必要はありませんよと、泣きたいときは泣かせてもいいですよと出演
者が言ってくださり、聴きに来て子どもが苦しい思いをするようなコンサ
ートであってはならないと芸術家の方も言ってくださいます。

川島委員

「日本の歌100年の旅」が非常によかったのは、そういう気持ちを汲んで
のことではないかと思えます。

開沼委員

クラシック音楽も環境が随分変わってきたような感じがしますが、オペラ
の前にもちょっとしたレクチャーがあったりしますし、できるだけ子ども
たちに面白く伝わっていく工夫をしていただければと思います。

それから情報事業で、情報誌の発行とありますが、どのような情報誌で
しょうか。

浅木生涯学習部担当部長

まだ情報誌と言われるものでなくチラシ程度です。これからもう
少し力をつけていかないと、なかなかできないと思っています。いろいろな

一層の努力をしてまいります。

それでは、平成 19 年度の当初計画の主なものとして青少年施設管理運営事業は、少年の森の宿泊研修施設「かわせみハウス」、並びに指定管理者の指定を受けました 4 施設の管理運営を行い、青少年施設を拠点とした各種事業を行ってまいります。八ヶ岳野外体験施設への国の自然ふれあい教室は、毎年応募者が多い事業で、本年度は昨年同様小学校 5～6 年生を対象に 45 名の定員を予定しております。

特別会計の放課後児童健全育成事業では、昨年度大幅に児童数が増加した湘南台小学校区と藤沢小学校区につきましては、今年度それぞれの学校区内に児童クラブの分館の開設を行います。当初の段階では待機児童はおりませんが、児童数の増加が見込まれている児童クラブにつきましては、今後においても一層の対応に努め、待機児童が生じないようにしてまいります。また、児童クラブの整備の基本理念であります 1 小学校区 1 児童クラブにつきましては、藤沢小学校区の第 2 チンチロ児童クラブが、現在大道小学校区の児童クラブの同じ建物で運営していることから、この解消を図るべく藤沢小学校の敷地内に 7 月の開設を目標に移転をいたします。これによりまして市内 35 の全小学校区に児童クラブが整備され、1 小学校区 1 児童クラブが達成されることとなります。これらの事業により青少年の参加と共生を目標に引き続き事業展開をしてまいります。

予算の会計区分ですが、一般会計は主に青少年国際化推進事業をはじめ、青少年社会参加活動推進事業、地理的特性事業など自然体験をはじめ、生活、社会体験事業やリーダー養成事業、団体支援など 8 領域にわたる事業に要する経費です。特別会計は青少年協会が運営している放課後児童健全育成事業、児童クラブに要する経費の予算編成です。

予算の内容ですが、一般会計の収入総額は記載のとおりです。収入の主なものは補助金等収入で、青少年施設の運営管理及び放課後児童健全育成事業に要する人件費を含めた委託や、事業実施ごとの負担などに対します市からの委託料収入並びに平成 17 年度開設した少年の森宿泊研修施設の利用に伴う使用料収入などです。

一般会計の支出総額は収入総額と同額です。支出のうち青少年国際化推進事業費から青少年育成資料刊行等事業費までは、先ほど説明した事業に要する経費で、青少年施設管理運営事業費は、藤沢、辻堂青少年会館をはじめ、地域子供の家及び児童館、少年の森などの管理運営に要する経費で、放課後児童健全育成事業費は、民間 4 法人が運営している児童クラブへの運営費委託で、管理費は青少年協会事務局の運営管理に要する経費で、繰入金支出は青少年協会が運営する 36 ヶ所の児童クラブの運営費を特別会計に繰り

入れるための支出です。

特別会計の収入総額は記載のとおりです。収入の主なものとして負担金収入は、保護者から徴収する児童クラブの入会金や月ごとの入所料及びおやつ代などです。なお、入所児童数は4月当初で1,943人を予定しております。繰入金収入は、児童クラブの運営管理に対する市からの委託料収入です。

特別会計の支出総額は収入総額と同額です。放課後児童健全育成事業は、児童クラブ36カ所の指導員の人件費及び施設の維持管理に要する経費で、固定資産取得支出は、平成18年度に建設した湘南台小学校区の児童クラブ「はやぶさ」の分割支払に要する経費並びに平成19年度に建設する藤沢小学校区の児童クラブ等の建設に要する経費となっております。

収支予算書総括表は、一般会計と特別会計の青少年協会全体の予算総括表です。青少年協会の事業ごとの概要、青少年協会の組織と職員の配置状況、青少年協会の役員、評議員名簿の説明は省略させていただきます。以上です。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員 普段から本市独特の青少年育成事業に努力されていることに感謝申し上げます。児童館や少年の森SL広場などの遊戯の点検やケアはどうなっているか、教えていただきたいと思います。

浅川生涯学習部参事 遊具と申しまして木製のものが多く、当然劣化がありますが、何年おきに検査ということはありませんが、児童館とか子供の家から連絡があれば、その都度、公共建築課と一緒に見て修繕等の対応をしております。

川島委員 最近、事故等の報告はないのですか。

吉田青少年課主幹 地域子供の家は23年前に湘南台子供の家を皮切りにできていったのですが、その中には大型遊具が幾つかあります。それについても見守る人、運営管理人から使えない等の情報が来ましたときに、担当課と一緒に見て修繕するという形をとっております。また少年の森は昭和55年にスタートしたのですが、大型遊具等については、月1回の点検をするという形をとっております。児童館については平成9年から始まりましたが、運営委員さん等が日々点検しております。

最近の事故についてですが、すり傷等の軽傷はありますが、大きな事故は出ておりません。

川島委員 30年ぐらい前から施設ができてきて、金属や木材というのは常に劣化するわけです。先般のジェットコースターの事故は、ボルトが緩んで起きたわけですので、点検はよろしくをお願いします。

開沼委員 青少年国際化推進事業は国際化社会に向けてということで、国際交流の集い、各種語学講座、情報誌の発行等といろいろな活動が盛り込まれておりま

すが、この経費では少ないのではないですか。これで本当に回っていくのだからかと感じました。市では「他文化共生まちづくり指針」というのを出しております。外国人市民とともに生きる藤沢ということですので、そういう視点を持った青少年協会の事業も大切になってくるのではないかと思います。その辺のご説明をお聞かせいただければと思います。

吉田青少年課主幹 青少年国際化推進事業については、青少年が地域でさまざまな方々と交流して相互理解を深める中で、共に生きる体験を通して互いに人権を尊重し、心を養うということで、地域から世界に向けて国際的視野を持っていかれるような事業を志しております。金額の多寡については、この国際化推進事業は実行委員会のスタッフがおりまして、年間を通して企画しております。いつも行っておりますのが国際交流事業ということで年間3回、語学系の講座として外国人のための日本語講座、世界のあいさつ入門講座とありますが、外国人のための日本語講座は、最近お子さん連れの方が増えてきています。今まではお子さんは無理だという話だったのですが、要望等を取り入れた形で実施をしてくれております。逆に日本語表記の講座とか情報紙の発行というような形で進めておりますけれども、この金額で行っております。他文化共生の中で、特に藤沢で交流を深める中でお互いに文化等を理解し合っていく一助になればいいなということで推進しております。

平岡委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、本件を了承することといたします。

×××

平岡委員長 次に、(3) 財団法人藤沢市スポーツ振興財団の平成 19 年度事業計画について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事 財団法人藤沢市スポーツ振興財団の平成 19 年度事業計画につきまして、予算とあわせてご説明いたします。(資料参照) はじめに、会計区分の表記が若干変わっておりますので、資料 45 ページをお開きいただきたいと思います。収支予算書総括表の見方ですが、昨年度指定管理者制度移行に伴い、法人会計の区分を従来の3会計、一般会計、スポーツ事業特別会計、物品販売特別会計を公益会計、受託事業特別会計、指定管理事業特別会計、物品販売事業特別会計の4会計区分に変更いたしました。本年度はさらに新会計基準を用いて表記をするということで、会計区分ごとに事業活動収支の部、投資活動収支の部、財務活動収支の部と3部に分けてそれぞれの部ごとに収入・支出の状況を明らかにすることとしております。さらに、前年度予算額及び現年度予算額との増減が比較できる表に変わっておりますのでよろしく願いいたします。

42 ページの公益会計に関しては、主として財団の運営管理に要する経費で、

特別会計 1 の受託事業特別会計は、各種スポーツ教室や大会等の開催及び湘南国際マラソン支援事務局等に要する経費、2 の指定管理事業特別会計は、指定管理を受けたスポーツ施設の効率的な運営管理に要する経費、3 の物品販売事業特別会計は、スポーツ施設利用者の利便性向上のため、物品販売等の事業を行う経費となっております。

予算内容ですが、公益会計の事業活動収支の部の収支差額は、記載のとおりです。主な収入の補助金等収入については、財団事務局職員の人件費や各種OA機器のリース料など、主に法人事務局の運営管理に対します市からの指定管理経費収入です。支出の主なものについては、スポーツ青少年等奨励事業に要する経費、財団事務局の運営管理等に要する経費です。

次に、投資活動収支の部の投資活動収支差額は、記載のとおりです。投資活動収入は、基本財産、特定財産ともに取崩収入はありません。支出の主なものは退職給付引当資産積立金、記念事業等積立金等の特定資産取得に要する経費です。

財務活動収支の部ですが、これに該当する活動は行っておりませんので、収支はございません。予備費支出を含めまして、当期収支差額は平成 18 年度からの繰越金の前期繰越収支差額と同額です。

次に、受託事業特別会計の事業活動収支の部の事業活動収支差額は、記載のとおりです。主な収入の補助金等収入については、各種大会やイベントの開催並びに湘南国際マラソン支援事務局に要する市からの委託料収入です。支出については、各種大会等の受託事業を遂行する経費です。

次に、投資活動収支の部、財務活動収支の部については、特に収支はございません。予備費支出を含め当期収支差額は平成 18 年度からの繰越金の前期繰越収支差額と同額です。

次に、指定管理事業特別会計の事業活動収支の部の事業活動収支差額は、記載のとおりです。主な収入の事業収入については、財団で実施いたしますスポーツ教室等の受講料収入等で、補助金等収入は秩父宮記念体育館をはじめとするスポーツ施設の管理運営に対します指定管理経費収入です。

支出の主なものについては、スポーツ教室事業以下指導者等事業までの各種事業に要する経費と、秩父宮記念体育館をはじめとする指定を受けたスポーツ施設の管理運営に要する経費です。

投資活動収支の部の投資活動収支差額は、記載のとおりです。投資活動収入は退職給付引当資産取崩収入の特定資産取崩収入ですが、本年度の取崩はございません。次に、支出の主なものとしては退職給付引当資産取得支出、責任準備資産取得支出等の特定資産取得に要する経費です。

財務活動収支の部の収支はありません。予備費支出を含めて当期収支差額

は、平成 18 年度からの繰越金の前期繰越収支差額と同額です。

次に、物品販売事業特別会計の事業活動収支の部の事業活動収支差額は、記載のとおりです。主な収入の物品販売収入は、物品販売に係る手数料収入、雑収入は主に自動販売機に係る電気代を設置業者からいただく実費収入です。支出の主なものは物品販売に係る職員人件費、消耗品等に要する経費です。

投資活動収支の部の投資活動収支差額は、記載のとおりです。投資活動収入は特にありません。支出としては、減価償却引当資産積立金の特定資産取得に要する経費です。

財務活動収支の部は、特に収支はありません。予備費支出を含めて当期収支差額は平成 18 年度からの繰越金の前期繰越収支差額と同額です。

収支予算書総括表は、財団全体の予算総括表となっておりますので、ご参照いただきたいと思います。また 54 ページから 58 ページは財団の事業計画の概要で、指定管理者制度移行後 2 年目を向かえ、ノーマライゼーション事業のさらなる推進と職員の創意工夫を生かした自主事業の展開を図り、積極的に自主財源の確保に努める等、財団事業の充実と経営基盤の確立を目指した計画が示されております。なお、資料中の黒くなっている部分は、財団より提出された元の資料がカラー印刷されていたためコピーした際に黒くなったものです。59 ページから 61 ページは財団の組織と職員の配置状況、財団理事・評議員等の名簿です。以上です。

平岡委員長

事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員

18 年度は国際マラソンが挙行され大成功だったと聞いておりますが、19 年度は、プラスアルファで何か新しい企画があるのか、それとも 18 年度と同様に行われるのでしょうか。

熊谷生涯学習部参事

湘南国際マラソンについては、昨年は実行委員会を編成して行っておりまして、今年度どのような形でやるのか、やらないのかを含めて神奈川県陸上競技協会の河野会長と実行委員会を編成したときの 5 人の副委員長たちとで協議をされて結論を出すと伺っていますが、まだどのような方向で行くかという最終的な報告は参っておりません。最終の実行委員会で河野実行委員長から天候に恵まれたことが一番の成功だったということで、来年もぜひおやりになりたいようなお話はされていたように伺っております。

それからスポーツ振興財団の事業は、18 年、19 年、20 年と 3 ヶ年にわたる事業計画を、選定するときに計画案として提出しております。その中に加えて新たに提案をしていくということで、例えばスポーツ教室も指定管理者業務になる前は 80 本ぐらいだったのですが、指定管理者として平成 18 年

度は 184 本実施しており、19 年度は 209 と、若干それぞれ提案されている業務の中でプラスにされている要素があります。それから新しく取り組んだ業務、提案したときには計画をしていなかったけれども、例えば「ひろみちお兄さんの親子体操教室」、これは佐藤弘道さんというテレビで活躍されている体操のお兄さんですが、この方とコンタクトがとれまして、ご協力いただけたということで急遽事業を組んだり、指定管理業務の応募をしたときに提案した業務以外にプラスになったものとして幾つか入っているものがございます。それらについてはプラスになっているということでご理解いただきたいと思えます。

鈴木委員 48 ページの湘南国際マラソンの予算はどのようなのですか。

熊谷生涯学習部参事 湘南国際マラソンの事業費については、大会を実施する経費というものではありません。あくまでも藤沢市の立場として 3 市 2 町の広域行政間に係る事業であり、この事業が円滑にできるように行政も側面的に応援するというスタンスで、マラソン大会を支援していくための業務をスポーツ振興財団にお願いすると。行政はあくまでも表立って支援することは難しいという中で、スポーツ振興財団に側面的な支援業務をお願いしております。その経費が記載されているもので、マラソン大会そのものは参加料等含めますと 1 億円を超える規模の大会になっております。スポーツ振興財団が計上しております経費については、市民の方からの問い合わせ等に対応していただく臨時職員の採用、行政間の調整役として連絡を取り資料をつかって、会議を開催・運営していただく人に係る人件費的なものを事業費の中に入れているということです。

鈴木委員 まだ支援事務局は残っているのですか。

熊谷生涯学習部参事 現在、支援事務局そのものは休止しております。まだ正式に神奈川県陸上競技協会は第 2 回目を行うという意思表示がありません。仮に行うようになった場合には、また同じような形で行政間が協力体制をとらないといけないという意味で、事務局的な要素が出てくるだろうということを想定してあらかじめ予算的に計上しております。現実的には昨年度支援事務局を担当していた職員を、現在は財団の通常業務の中に取り入れて業務をさせておりますので、この業務が第 2 回ということで出てきますと、それにかかわる業務を同じ職員が担っていくようになろうかと思えます。

平岡委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、本件を了承することといたします。

×××

平岡委員長 次に、(4) 藤沢市八ヶ岳野外体験教室に係る指定管理者の選定方法について、事務局の説明を求めます。

桑山教育総務部参事 藤沢市八ヶ岳野外体験教室の指定管理者審査選定について、ご説明いたします。(資料参照) 八ヶ岳野外体験教室は、児童生徒が豊かな自然の中で集団生活や野外体験を通して心身を鍛え、健全な人格を形成していくための施設として平成4年6月に開所され、15年が経過しようとしております。開設当初は学校利用も数校でしたが、現在では小中全校が利用しております。また学校が利用しない日には市民にも開放しており、藤沢とは違った大自然を体験できる場として満足いただいております。八ヶ岳野外体験教室は平成17年4月、藤沢市で初めて指定管理者制度を導入し、民間に委託をお願いいたしました。その結果、現在ではさまざまなイベントやバスハイク等も新たに行われ、学校ばかりでなく市民からも好評を得ております。平成20年3月末をもって指定期間の3年が終了するため新たな指定管理者を選定することになります。そこで審査選定委員会を開催し、指定管理者の選定に当たっての審査基準及び審査方法並びに募集要項を定めるとともに、申請した団体の審査選定を行います。指定期間については、今回から5年間とすることになりました。審査選定委員の構成につきましては、記載のとおりです。

審査選定の流れについてですが、4月16日に第1回の審査選定委員会を開催し、審査方法や募集要項等について協議しました。今後の予定としましては、募集要項を5月14日から配布します。その後、説明会を藤沢で、見学会を体験教室でそれぞれ行い、申請の受付を6月28日、29日の2日間で行います。7月27日に提出書類による第1次審査を行います。ここで上位4者程度を選考し、その申請者は第2次審査の対象として8月3日にプレゼンテーションを行います。その結果で第1位、第2位を決め、第1位を指定管理者候補者とします。12月の藤沢市議会の議決を経て新たな指定管理者を決定してまいります。前回は8者の応募がありました。今回も8者から10者程度の応募があるのではないかと想定しております。以上です。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

小野委員 私も委員の1人ですが、学校教育施設ということでは、ほかの自治体でやられている保養所あたりの宿泊施設と違うところだと考えます。そういうものを含めて利用する側から応募者の積極的な提案を審査したいと考えています。やはり学校が利用すると、小学5年生、中学1年生が利用してその子どもたちにとってはいい経験をしているわけです。そういうところが齟齬を来さないような形、それから指定管理者としても一般市民に対してサービスができるというような点で選考してまいりたいと考えます。

鈴木委員 指定管理者の常駐は何人ぐらいで運営管理をされているのですか。24時間

対応できる人はいるのですか。マンションなどは昼間だけとかがありますが、1年中なのか、夏の時期は多いとか、また今まで指定管理者が行っていた間に問題はなかったのか等、お聞かせください。

柚原学校教育課指導主事 所長1名、フロント1名、看護師1名が常勤でおります。それ以外に非常勤もおりますので、常に3名がおります。また教育委員会からも2名行っております。

開沼委員 4月16日に第1回審査選定委員会が開かれておりますが、この指定管理者制度を導入して2年経ちました。20年度の選定についてのさまざまな方針の前段階として、2年間の導入でどのようなメリット、デメリット、運営がどういう実態だったのか、その辺のところを踏まえた上で今回の選定委員会の方針など、5月28日の説明会で示されると思うのですが、今、教えていただけることがありましたら伺いしたいと思います。

柚原学校教育課指導主事 現在、3年目に入りました東急コミュニティーの指定管理ですが、毎年5月末までに前年度の事業報告が出されており、昨年度のものは近く出て参ると思います。初年度のものについては教育委員会定例会の中でも行っておりますが、メリットというか、初期投資の部分で、食器を購入しなければいけないということが大変でありまして、その部分が赤字となって、それを回復するのに3年間ではなかなか大変ということもございました。そういう中で新たな提案という形で、現地に常駐の環境指導員が、市民だけではなくて学校の利用団体に対して自然観察を行ったり、散策についてのアドバイス等を行ったりして好評を博しております。また月1回バスハイクを企画して、市民40人以上を連れていったという経過もあります。ただ、昨年度は毎月計画したのですが、そのうちの6回は人数が足りず、残念ながら行くことができなかった。その理由としては、その場所が市民に周知されていない、名前からして学校利用の場所であるというところがどうしても強いようで、できるだけ広報、ホームページ等で知らせてはいるのですが、バスハイクの参加者は高齢者が多いようで、広報をご覧になって来ている方が多いようです。去年実施した月には今年度もバスハイクを実施しております。また宿泊されている市民利用の方々につきましては、野鳥観察会とか星空観察会、バームクーヘンづくり、森の自然のものを使っただけの飾りづくり等の新しい提案がされております。その評価については、毎月評価という形で評点を出して、それをもとに年度の評点を出して評価しておりますので、来年度20年6月ごろに3年間の総括をして出したいと思っております。

落合教育総務部長 全体として見れば、指定管理者を導入したことによって経費がその前年よりは格段に下がっているということです。お金は下がったけれども、質は

どうかといえば、この2年半の中で苦情等大きな問題はなく、かえって地元での事後決済とか市民サービスに向けた新たな企画等があって、おおむね好評であったと理解しております。

桑山教育総務部参事 20年6月というのは、現在の指定管理者の3年間の総括をその時期に出すということをございまして、月ごと年度ごとの評価はこちらで行います。

開沼委員 20年度の選定委員会はこれから行われるわけですが、20年度の方針で新たに盛り込まれたものがありましたらご説明いただきたいと思います。

落合教育総務部長 こちらから新たに何かをしてくれというようなことはございません。指定管理者には学校教育の充実、安全、優先確保を適切な施設管理として優先していただく。そのほかに市民や学校教育の利用に関してのアイデアや企画力をどの程度の予算でできるのかということが指定管理者の選考ですので、基本的には従来と同じようなことだけをお願いして、これが良い、あれはダメというようなことは提案しておりません。指定管理者の各業者がさまざまなアイデアを持ちより、最初はそのアイデアが企画書によって相当な開きがあったのですが、今回この2年間なり、また各地で指定管理が行われましたので、今回は応募者の内容はこれを下地にしてきますので、僅差のアイデアが出てくるのではないかと考えております。いずれにしても全体としてはプラスだったと思いますが、東急コミュニティーにすれば、当初経費がかかっているというようなことを参考にして、次に応札する者は様々なアイデアが出ると思いますので、複数以上の企業体が来ると考えております。

川島委員 藤沢市独特の野外教育活動で子どもたちも期待しているのですが、何か他市の施設を視察したとか、情報はありますか。

落合教育総務部長 八ヶ岳野外体験施設は15年が経ちますけれども、当初においては様々な施設や地域を見て回ったようです。これを設立した当初の理念は、八ヶ岳の自然を生かしたものという様々な論議を経てなったということをございます。近年は、安定した計画が学校でも定着して冬の利用も行われ、義務教育の9年間に2回は行くということになっておりますので、他の施設を見に行くということはしておりません。食事等については、学校を優先しておりまして、それ以外を市民に開放するという形態ですが、市民に貸さないというところもあれば、市の施設として先に貸してしまうというところもあります。現状で申し上げれば、ほかの施設を見に行くということしておりません。

川島委員 フィールドサイエンス教育という体験学習教育は、今の教育のスタンスではないかと思えます。特に、親元から離れてこういったところへ行くというのは、今の子どもたちの情操教育、道徳教育の大事なファクターですので、ぜひ積極的に推進し充実していただきたいと思えます。

桑山教育総務部参事 教員も退職者が大量に出てくる中で、若い教員も入ってきている現状がございませう。ここ数年継続して、八ヶ岳野外体験教室を知ってもらい、より活用ができるようにということで、毎年夏に若手の教員を中心に研修を行っております。藤沢市の教員も八ヶ岳の施設について十分に熟知した中で、今後も有効な活用を広げていきたいと考えております。

平岡委員長 私も選定委員の1人ですが、毎年、障害者団体で利用しておりまして、その都度反省会を持って、いろいろなお願いをしてきた経過がございませう。利用者の声を入れてほしいという依頼を受けておりまして、バリアフリーにはなっているのですが、バリアーを体験する場としてそれなりの枠組みの中で、大勢の人が利用できるようなものにするにはという観点から今まで申し上げておりましたし、そのような観点で委員に入れていただいております。

開沼委員 教育施設を幅広く市民に開放するというのは非常にいいのではないかとおもいます。私の住んでいる街にも同様の施設があり、私の家でも子どもが小さい頃から利用しており、今回、久しぶりに学校の野外体験授業で出かけております。そうしますと、あのキャンプ場はどうなっているかとか、周辺がどう変化しているだろうかと、長く関わることができます。そういった形で長く市民に楽しんでいただきながら、またそこで子どもたちもお父さん、お母さんになっていくということだと思っております。その意味でいろいろなプログラムの充実には、先生方の力もお借りしながら、厚みを増していただければと思っております。そして、それが市民の方たちにも八ヶ岳の施設を通じて、さらに生涯学習に広がっていくことを願っております。

小野委員 今までの野外体験教室でのメニューなどをまとめたものがありますので、中身を見ていただきたいと思っております。

平岡委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、本件を了承することといたします。

以上で、本日予定いたしました審議する案件はすべて終了いたしました。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長 次回の定例会の期日を決めたいと思っております。6月8日(金)午後3時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催ということではいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長 それでは、次回の定例会は6月8日(金)午後3時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の公開による審議の日程はすべて終了いたしました。

午後5時00分 閉会

この会議の結果を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員